

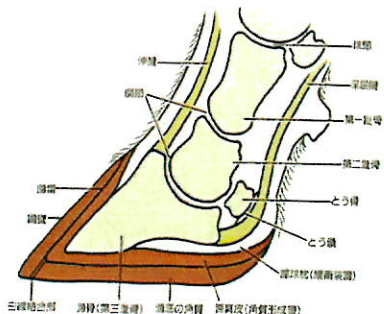
# 【断蹄術を行った牛の経過観察】

## ○はじめに

久しぶりにM情報書かせていただきます。いつの間にか4年目になりました津曲です。今回は7月上旬に白帯病から継発した深部感染に実施した断蹄術で治癒経過を追うことができたので、写真盛りだくさんでご報告します。

## ○蹄深部感染症とは

感染が角質や表皮よりも深部に進行し、深趾屈腱、とう囊、遠位趾節間関節（第二趾骨と第三趾骨の間）、とう骨、第三趾骨の骨組織に感染が拡大した病態を指します。



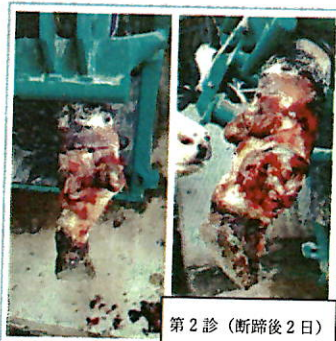
『牛のフットケアガイド』チクサン出版

## ○症例

下左の写真はL牧場のフリーストール牛舎で発生した蹄底潰瘍から継発した深部感染症です。初診時に右後肢を負重困難であり、外蹄の反軸側の白線から蹄冠部に向けて瘻管を形成していました。右の写真の様に蹄冠部が著しく腫脹しており、遠位趾節間関節への穿刺を行ったところ膿性白色の滑液を採取したため、断蹄術を実施しました。



上右に示す写真が断蹄後の状態になります。第二趾骨遠位で切断しましたが、切断面は感染を疑う所見ありませんでした。外用薬を塗布し、包帯と糞尿から保護のためダクトテープを巻き経過を観察しました。以下は包帯の交換を行うたびに撮影した写真になります。



第2診(断蹄後2日)



第3診(断蹄後4日)



第4診(断蹄後7日)



第5診(断蹄後10日)



第6診(断蹄後14日)



第7診(断蹄後22日)



第8診(断蹄後29日)



第10診(断蹄後54日)

## ○まとめ

現在当該牛は2産目、妊娠220日ほどです。跛行なく元気にフリーストールを闊歩しています。何度も痛いことをしたにもかかわらず、人好きで自ら進んで柵場に入ってくれたかわい子ちゃんです。元気な子を分娩して、長く農場に残ってくれることを期待したいです。断蹄術はこれで2度目でした。今後の深部感染でもしっかり診断を行い、適切な処置を行ってまいります。

津曲歩径



Total Herd Management Service